



Corporate Profile 企業情報

会社名 VAIO株式会社 <https://vaio.com/>
設立日 2014年7月1日
資本金 1,552百万円
事業内容 PC事業における、企画、設計、開発、製造および販売と、それに付随するサービス

所在地

本 社	〒399-8282 長野県安曇野市豊科 5432 TEL：0263-87-0810 (代表) FAX：0263-50-7015
東京オフィス	〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4 丁目 3 番 20 号 神谷町 MT ビル 16 階 TEL：03-6420-0960 (代表) FAX：03-6420-0935
大阪オフィス	〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町 2 丁目 4 番 9 号 淀屋橋 PREX 12 階 TEL：06-6224-0168 (代表) FAX：06-6224-0169
名古屋オフィス	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 3 丁目 2 番 3 号 名古屋日興證券ビル 4 階 TEL：052-269-8028 (代表) FAX：052-269-8038
福岡オフィス	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 1 丁目 18 番 33 号 博多イーストテラス 1 階 Mol.t TEL：092-260-7727 (代表)

VAIO 株式会社

VAIO Corporation



“VAIO”、はVAIO株式会社の登録商標または商標です。

2023年1月 現在

VJ2023-001

ごあいさつ

VAIOの誕生は今から四半世紀ほど前、1997年にさかのぼります。ソニー株式会社のパーソナルコンピュータ・ブランドとして登場したVAIO。その製品は、軽量・薄型のモバイル・ノートパソコンを中心に世代を超えて世界中の人々に愛されてきました。2014年にソニーから独立してVAIO株式会社となっても、私どもはその伝統を受け継ぎ、高性能・高品質の製品を北アルプスの麓、長野県安曇野の本社工場を拠点に産み出し続けています。

VAIOが醸し出すモチーフは、「自由」そして「挑戦」です。私たちは常に製品を使っていただく方を想い、その方たちに最高のコンピューティング体験をしていただけるようなものづくりにこだわり続けてまいりました。VAIO独特のスタイリッシュなデザイン、そして製品の快適な操作性や信頼感、そこから導き出される所有と使用の満足感…それらをもとに、お客様の皆さまが「自由」な発想でさまざまなことに「挑戦」することができれば、大変嬉しく思います。

IT業界はどんどん進化を続けています。私どももパソコンだけにとらわれない、さまざまなイノベーションに挑戦して、皆さまとともに豊かな未来の社会を創れるように努めてまいりたいと存じます。今後とも一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。



VAIO 株式会社
代表取締役
執行役員社長
山野 正樹

【品質憲章】

VAIOの思いをお届けし、VAIOを永く愛して頂くよう品質第一で取り組みます。

【品質行動指針】

全社員が一枚岩となって、お客様の声に真摯に耳を傾け、「安曇野品質のVAIO」を創って、作って、お届けします。

1. お客様視点で判断し、行動する。
2. お客様のご不便、ご迷惑を迅速に解決する。
3. 源流からの品質作り込みを行う。
4. 現場に赴き、現物を見て、現実を知って、素早く行動する。
5. 品質マネジメントシステムを構築し、これを継続的改善する。

【環境経営理念】

水と緑豊かな安曇野に立地するVAIOとして、身近な環境に限らず、国際的な環境活動と調和した事業活動を行い、持続可能な社会の実現に貢献します。

【環境経営方針】

1. 環境に配慮した製品・サービスを提供し、お客様の環境負荷低減及びSDGsの達成に貢献します。
2. 働きやすい環境の整備、エネルギー使用の合理化を行い、2030年度にCO2排出量を2018年度比で50%削減します。
3. 資源の有効利用、リサイクル化を推進し、循環型社会の実現を目指します。
4. 化学物質の適正管理を行い、人と環境への悪影響を削減します。
5. 水使用量を適切に管理します。
6. グリーン購入・調達を継続実施します。
7. 環境関連法規制等を遵守します。
8. 環境経営の継続的改善を実施します。

環境経営方針は全社員に周知し、全員参加で自主的・積極的に取り組みます。また環境経営方針は社外にも公表します。

VAIOのあゆみ

- 1961 長野県南安曇郡豊科町に東洋通信工業豊科工場を建設。
- 1974 長野東洋通信株式会社としてソニー株式会社100%子会社に。当時は主にオーディオ関連製品を製造。
- 1983 家庭用コンピューター「MSX」の製造を開始。
- 1986 UNIXワークステーション「NEWS」の製造を開始。
- 1989 社名を「ソニーデジタルプロダクツ株式会社」に変更。
- 1991 ノートPCのOEM製造を開始。オーディオ関連製品の設計を開始。
- 1994 非接触通信カードの製造を開始。
- 1996 リチウムイオン電池パックの製造を開始。
- 1997 「VAIO」ノートPCの製造を開始。



- 1999 エンターテインメントロボット「AIBO」の製造を開始。

- 2000 テクニカル&サポートセンター（VAIOカスタマーサービス部門）を設置。
- 2001 ソニーイーエムシーエス株式会社 長野テックとして再編。
- 2002 「VAIO」ノートPC製造台数が500万台に到達。
- 2003 デジタルカメラ「QUALIA 016」の製造を開始。
- 2005 「VAIO」デスクトップPCの製造を開始。
- 2006 「AIBO」の製造を終了。
- 2007 パーソナルコミュニケーション「mylo」の製造を開始。
- 2010 「ソニーイーエムシーエス株式会社 長野テクノロジーサイト」に社名変更。「ソニー株式会社 長野ビジネスセンター」を設立。PC関連製品の設計・開発・製造拠点を統合。



- 2014 ソニー株式会社から分離・独立し、「VAIO株式会社」を設立。
- 2020 大阪オフィス、名古屋オフィス、福岡オフィスを開設。
- 2021 グローバルフラッグシップ「VAIO® Z」を発表。



VAIO株式会社 事業紹介

PC事業

最高のアウトプットを実現するPCで新しい働き方への挑戦をサポート

場所に縛られない柔軟な働き方へシフトしつつある中、そのパートナーとなり最高の生産性を発揮するPCが求められます。4つの差異化軸点—インプット、アウトプット、レスポンス、質感・剛性—を全ての機種で実現すべく、VAIOの設計、製造技術を駆使したものづくりを行っています。



フラッグシップモバイル
VAIO® SX12 / VAIO® Pro PJ

世界初*、立体成型フルカーボンボディを実現したモバイルPCのグローバルフラッグシップモデル。1kgを切る軽量がボディで並外れたスピード、スタミナ、強靭さを実現しています。

*ノートPC筐体を構成する全ての面で、立体成型を行ったカーボン連続繊維素材を使用することにおいて。
2021年1月6日時点 ステラアソシエ調べ。



スタンダードモバイル
VAIO® SX12 / VAIO® Pro PJ

気軽に持ち歩ける12.5型ワイド、約899g*の軽量ボディと、どんな環境でも安心して使える堅牢性を両立。自分らしさを演出できる5色のコンパクトなボディに使い勝手を高める機能を凝縮。

*最軽量構成時。構成によって質量は異なります。



大画面モバイル
VAIO® SX14 / VAIO® Pro PK

立体成型カーボン天板による堅牢ボディ、最新世代プロセッサが生み出す圧倒的なパフォーマンス、大画面ながらも携帯性に富み、自分らしさを演出できる多彩なカラーバリエーション。新しい時代のノートPCに求められる性能を、14.0型ワイドのボディに凝縮しました。



本質モバイル
VAIO® S13 / VAIO® Pro PG

モバイルPCに求められる本質を凝縮。堅牢性の高いコンパクトなボディに、長く快適さを保ち続ける高性能と、AIノイズキャンセリングやVAIO User Sensing*などの便利機能を詰め込みました。



大画面オールインワン
VAIO® S15 / VAIO® Pro PH

15.6型ワイド 光学ドライブ付モバイルPC。デスクトップPC級の性能を実現するCPUを搭載し、ノートPCの常識を超えるハイパフォーマンスを実現します。

※VAIO® Proシリーズは法人向けモデルです。

海外向け

VAIO株式会社は、世界各地で販売・サポート・修理可能な体制を整えています

北米、中国、南米、アジア、中東 地域で製品・サービスを提供中。
(2021年12月時点)

海外向けVAIO PC製品の一例をご紹介します。



VAIO® FE14

2020年3月に南米地域にて発売。同クラス製品の前年比、約2倍に販売数を伸ばし、現地の売上ランキングに入るヒットモデル。

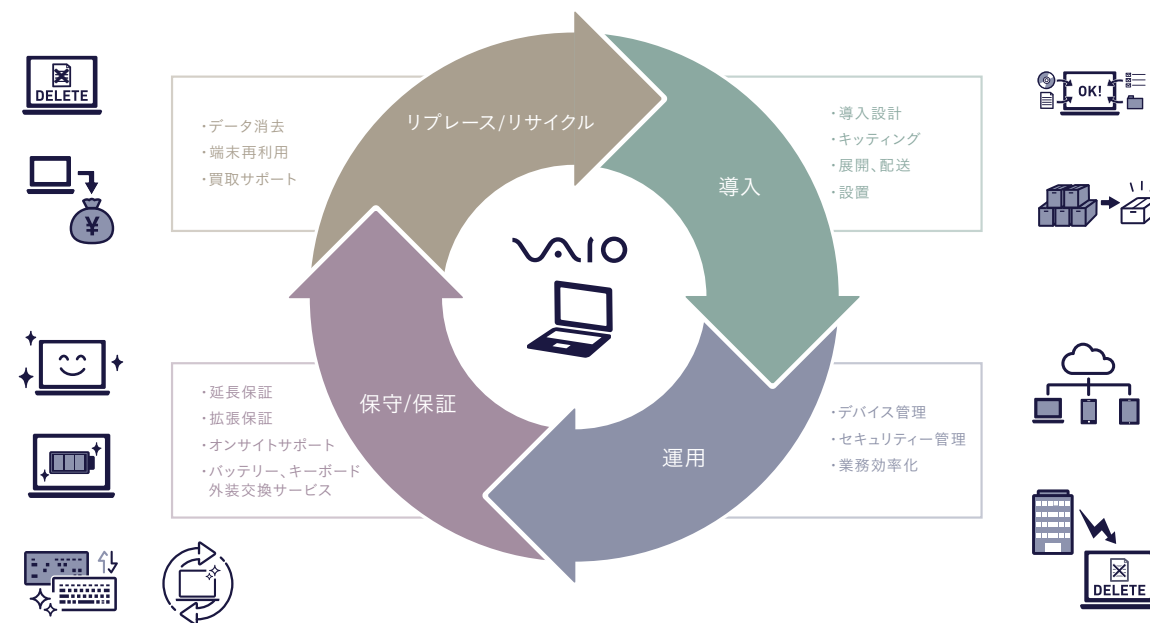


VAIO® FH14

2020年11月に中国にて発売。同地域で最大のIT系・ウェブサイト・メディア、ZOLにより、RECOMMENDED PRODUCT AWARDを受賞

あんしん・便利 VAIOのPCソリューション

VAIOはお客様のライフサイクルにあわせ、導入から廃棄まで、お客さまに寄り添ってサポートいたします。



スムーズな導入計画を実現する キッティングサービス



多彩なキッティングメニュー

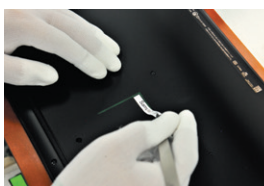
さまざまなご利用環境に合わせたメニューをご用意。
フルパッケージはもちろん、必要なサービスのみを選んでいただくことも可能です。

メーカー直接対応ならではの高品質

誰よりも製品に詳しいメーカーの技術者が、キッティングサービスも対応します。
キッティング作業も、製品製造を行っている熟練作業者が実施します。

導入前後のご負担も軽減

PC生産後、同工場内でキッティング。初回導入時の保管・輸送費がかかりません。修理も同工場内で行っているため、故障修理後の返却前に再キッティングが可能。ダウンタイムを最低限に抑えます。



ソコワク®

VAIOが実現する サクサクVPN



自動接続だから『すぐにつながる』 常時接続だから『ずっとつながる』

安全で快適なリモートワークを実現する、VPNサービスの『ソコワク』と、リモートデスクトップサービスの『ソコワク Secure RDP Connect』2つのラインナップをご提供。
ワークスタイルに合わせて最適なサービスをお選びいただけます。

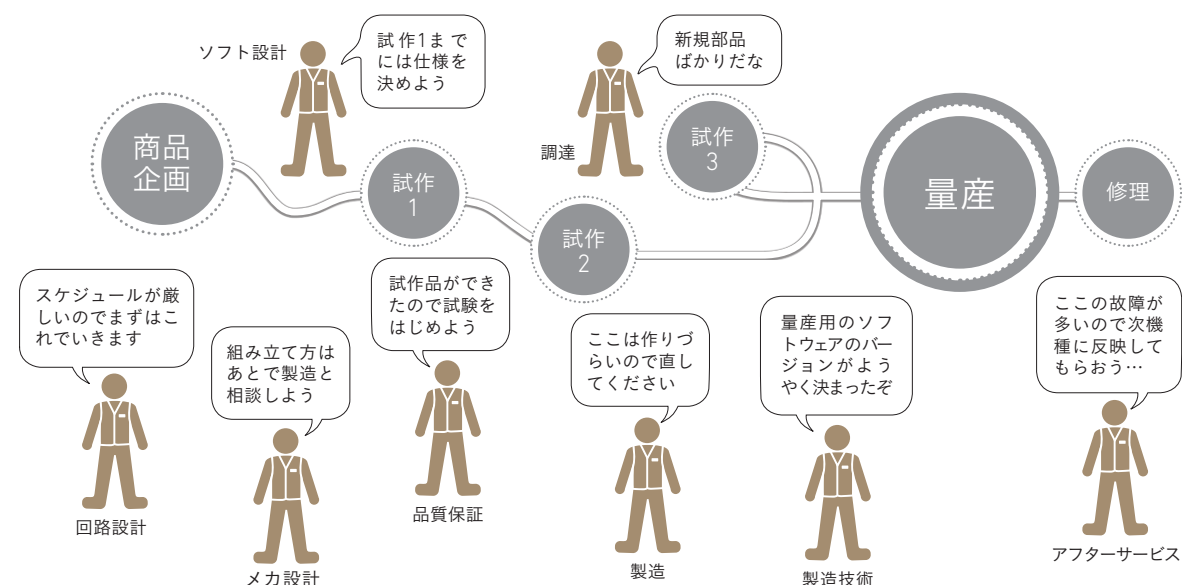
詳しくはこちら <https://sokowaku.com/>

VAIOのものづくり

keyword 1

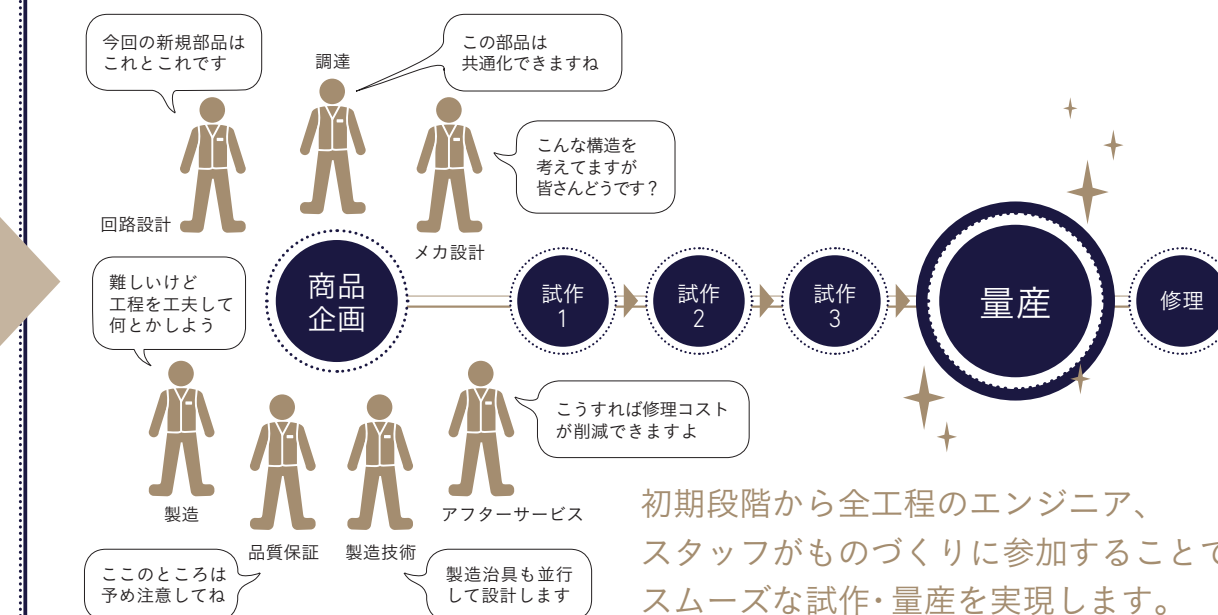
上流設計

▼ Before 従来のプロセス



設計が進んだところでその都度、関連工程のエンジニア、スタッフが参加してくるため、当初想定していなかった変更や追加が発生しがちでした。

▼ After 上流設計プロセス



初期段階から全工程のエンジニア、スタッフがものづくりに参加することでスムーズな試作・量産を実現します。

keyword 2

ワンストップ

VAIO株式会社は企画、設計、製造から、アフターサービスまで、一気通貫のワンストップ体制を誇ります。



新しいVAIOを無から形にしていく
ものづくりに関わる全メンバーのまとめ役

商品企画

- VAIOに息づく一貫したフィロソフィーのもと、ものづくりに関わる全てのメンバーと一体となり商品を企画する
- 次に生まれるVAIOに対してのものづくりに関わるメンバー全員の総力をまとめ上げ、形にしていく
- VAIOに込められた思い、こだわりを未来のユーザーにむけて伝えていく



全方位で国内最高レベルを
誇る高度設計技術

基板設計

- 多能工かつ少数精鋭チームによる“高効率設計”
- 設計の全工程を“一貫設計”でサポート
- DFM*やシミュレーションを駆使した高密度かつ高品質実装基板設計

電気設計

- リファレンスデザインを超える設計を追求
- EMCサイトを利用し、ノイズ設計/無線設計を高次元で融合

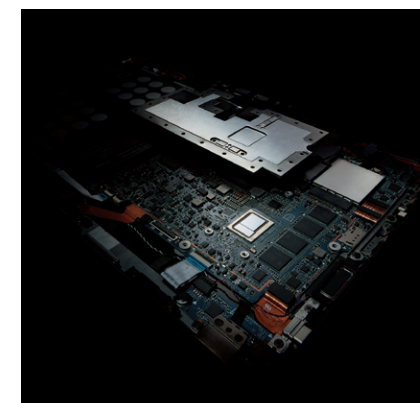
メカ設計

- マグネシウムやカーボンなど、素材の特性を熟知。高剛性・極薄・軽量設計に、静粛性にまでこだわる排熱設計を合わせ、商品の高密度設計をトータルプロデュース

ソフトウェア設計

- PC設計の豊富な経験を礎とした、Windowsアプリケーションから組み込みソフトウェアまでカバーする幅広いソフトウェア開発力

*Design for Manufacturability





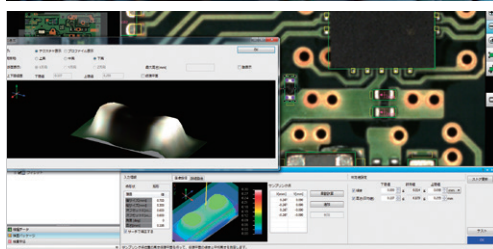
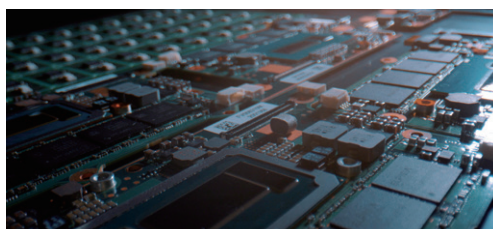
数々の経験が調達力にも
生かされています

試作 / 量産調達

- 長年培ったネットワークを駆使し、多彩なカテゴリ
部品の調達を実現
- 軽量薄型、高品位といったVAIOフィロソフィーを実現
するための特殊製法に精通



業界トップクラスの
高度な実装技術



基板実装

～ どんな部品も、どんな基板も、業界トップクラスで実装 ～

- 実装技術：極小サイズ(0402)、狭ピッチ(0.35)部品に対応
- キャリア実装：基板種、形状に左右されず、最適な効率&コストを実現
- 補強技術：3Dディスペンス補強材塗布技術

実装品質保証

～ 検査技術による実装品質保証 ～

- 高精度検査：3D/2D検査(印刷、搭載、外観)
- トレーサビリティ：部品情報及び生産履歴を記録
- 長期信頼性：X線非破壊検査、熱衝撃試験、SEM評価(成分分析/
断面解析)

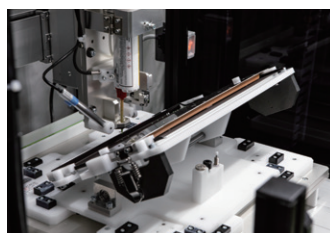


デジタル技術の活用による
高品質なものづくり

接着

～ 薄・軽・堅牢を実現させる素材の特性に合わせた接着技術 ～

- 長期信頼性：素材に最適な接着剤の選定と各種評価(衝
撃、環境試験)
- デザインと剛性の両立：多種多様な塗布条件を満たす高
精度な3D塗布技術
- 高精度：自社開発設備、リアルタイム画像検査F/Bによる
微調整加工



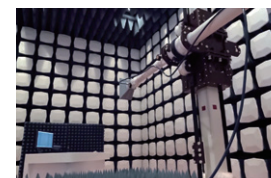
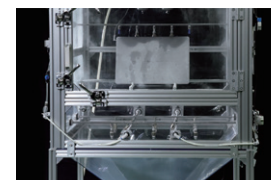
組立 / 検査

～ 高品質 / 高品位 / 高効率の追求 ～

- 組立技術：組立専門スタッフ / 専用設備・治工具 / 組立
保証インフラ
- 機能検査技術：画像検査 / 機能検査 / パフォーマンス検査
- 官能検査技術：認定検査スタッフの五感を駆使した検査
- 工程管理技術：IEによる分析(工程可視化 / 作業動画解析 /
検査データ分析)



顧客の満足度を最大限に
高める“信頼”の品質



品質保証

- 徹底した品質試験でい
つでも安心して使える製
品にクオリティアップ

製品安全

- 各国の法規制に基づく認
証取得と、独自の安心安
全基準の運用
- 社内EMCサイトで随時測
定・評価が可能



物流品質でもお客様の
期待にお応えします

出荷

- 個人配送から海外拠点配送まで、
あらゆる物流パターンに対応
- お客様の要求を実現するべく、新規ルート開発も実施



ダイレクトな
コミュニケーションで
お客様との信頼関係を強固に

マーケティング

- VAIOとお客様との接点をつくり
製品の魅力をわかりやすく伝達・拡散
- ブランドイメージを高める
マーケティング・コミュニケーション活動の実施

営業 / 技術営業

- 東京オフィスを起点として、大阪・名古屋・福岡へ営業
拠点を拡大
- 法人顧客の技術的要望に設計・製造経験者が直接対応
- お客様の声や現場の実情を次の商品企画に反映



製品出荷“後”の
クオリティも妥協しない

アフターサービス

- アフターサービスは本社で対応
- 設計・製造・品証部門による現物・現実確認で迅速に解決
- お客様の声を製品に反映
- 法人様向けにはオンサイトサービスなども対応



安曇野FINISH

安曇野でのものづくりに自信と誇りをもっています

VAIOは本社を長野県安曇野工
場に据えました。それは私たち
が、日本のメーカーとして、もの
づくりの本質を追求していくと
いう意志の表われでもあります。
すべてのVAIO製品は、安曇野で
専任の技術者が一台ずつ仕上げ
を行い、数十項目にも及ぶ徹底し
た品質チェックを経て出荷され
ます。それは我々が製品の品質に
責任を持つために施す最終工程
なのです。



全ての品質チェックが完
了した証明として、最後に
「安曇野FINISH」のスタ
ンプを押して出荷します。

VAIO開発現場の声

〈基板設計担当〉



試作後の基板トラブルはもう何年も経験していません

真のモバイルPCをつくるため、私たちはリファレンスデザインの先まで踏み込んだ設計をします。リファレンスデザインをそのまま使用した製品は、誰でも作れて安定した性能が期待できる一方、差別化が難しくなるためです。高密度実装の限界を「攻める」時は、マザーボード設計の初期段階から、生産設備と現場を熟知した実装担当者が設計と一緒に基板を設計します。システムメモリの配線など、高密度配線の限界を「攻める」時は、効率

的に配線する設計プランを複数用意して臨みます。プラン作成と取捨選択のスピードは多くの基礎検討を積み上げてきた経験が物を言います。ポイントは、リファレンスデザインの寸法/配線基準ではなく、その基準が目指す電気性能は何かに着目することです。それらをひとつずつ、シミュレーションや実験で確認しながら設計を進めることで、リファレンスデザインを超えていながら、確実に動作し続けるマザーボードを創り出しているのです。

「上流設計」や「ワンストップ」に代表されるVAIOのものづくり。ここではVAIO開発現場の声を紹介いたします。

個々の担当の業務は、有機的に関連しあい、ものづくりというひとつの目標に向かって行われていきます。



VAIO® SX12 / VAIO® Pro PJ

※右上ローズゴールドはVAIO SX12のみ。※VAIO® Proシリーズは法人向けモデル。

〈メカ設計担当〉



各部署と二人三脚で実現する、信頼性の高い「かわいい」VAIO

VAIOの機構設計は、基本的なレイアウト設計を行いながら、VAIOのIDである「かわいい」をかぶせていきます。デザインレビューには、機構設計担当者だけでなく、電気設計、製造、信頼性強化のために品質保証メンバーさえも参加。そして、決まったデザインを確実に実現するために製造技術と相談し治具を用意します。商品性、品質を保ちつつ、IDであるかわいいVAIOはこうやってつくられていくのです。

〈試作購買担当〉



コンパクトな組織だから出来る密なコミュニケーションとスピーディーな対応

調達チームの仕事は、設計構想段階から始まります。設計と密にコミュニケーションを取りながら新デバイス、新技術の調査、提案を行います。新しいものばかりでなく、流用出来る部品が無い、数量規模にあった最適な部品選定など、過去の幅広い部品調達の知識、経験の基づいた業務を行います。

〈電気設計担当〉



無線通信性能を始め、多くのポイントで上流設計が功を奏しています

モバイルノートPCにとって、無線通信性能はCPU性能やバッテリー駆動時間に並ぶ重要な要件。VAIOでは早期からBluetooth、無線LAN、無線WAN (3G/LTE/5G) など、最先端のワイヤレス技術に果敢に挑戦してきました。中でも無線WANは700MHz帯から5.0GHz帯まで極めて幅広い周波数帯域のサポートが必要な上、電波が微弱な

エリアでも確実に通信できるよう、PC本体が発生するノイズを抑え込む設計が必要となります。そしてここでもVAIOの「上流設計」が効果を発揮。本体設計の初期段階から通信モジュールやアンテナの配置、配線ルートなどに配慮することで、より効率的な性能追求を可能としています。

〈製造担当〉



カスタマイズ生産に追従。生産品質に自信アリ！

VAIOでは以前から専門スタッフによる官能検査や手作業による細かな組み立てなど、人が持つ能力を最大限活かすことで得られる品位や品質を大切にしてきました。その上で人為的な作業ミス、作業ばらつきを抑制するための作業アシスト治具や設備の開発、カスタマイズ生産における部品選択システム、画像検査による組立保証を導入することで、より安定した生産品質を実現しています。人と設備それぞれの特長を活かし生産品質を高めることがお客さまの信頼に繋がると考えています。

〈製造技術担当〉



設計初期段階こそが製造技術の腕の見せどころ！

「デザイン・薄・軽・堅牢」の追求により、年々、製造での組立難易度は上がってきています。そのような背景の中、上流設計という導入プロセスにおいて我々製造技術は、量産化を実現するために必要な「製造性・品質・コスト」を意識し、部品1つ1つの形状から組立作業に至るまでデザインレビューを実施し、設計に反映してもらって

ます。また、同時に生産に必要な治具設備の設計、加工技術の導入を行うことで、商品と生産インフラの完成度向上を両立しています。その結果、部品の特性を考慮した生産設備や工程を準備することができ、最終的に製品品質へと繋がり、お客様に喜んで満足頂ける製品を量産する現場が出来上がっています。

〈企画担当〉



とことん話し合う無駄な会議はない

ビジネスにおける生産性、創造性を極限まで高めるために、レスポンスとモビリティを両立させるという企画の方向性が定まった段階で、総勢数十名に及ぶ開発メンバーを会議室に集め、そのコンセプトについての周知を行ないました。自分たちが作るものへの疑問、それに対し一人ひとりが腹落ちしなければ本当に良いものは作れませんから。それでも納得できないメンバーが直談判にやってきたこともありましたが、そして、そんなことができたのも、設計と製造をはじめ、全ての部署がワンフロアに集められたから。どこかに人だかりができると「何か問題が起きているのか」とさらに人が集まってきます。するとその場で活きた、深い議論が始まり、その場で決断できるように。無駄な会議がなくなりました。

〈調達担当〉



綿密な連携で戦略的に調達

量産調達に求められるのは営業、サプライチェーン・マネジメントチームとの密接な連携による確実な部品調達です。サプライヤーからの情報をいち早く入手し、各部門とリスク共有することで解決策を導き出します。サプライヤーとのコミュニケーションを取りながら、日々刻々と変化する調達環境を考慮し戦略的な調達を行っています。

〈品質保証・製品安全担当〉



いじめ抜いて耐久性を確認

いつでもVAIOを安心してお使いいただけますよう、全ての製品で徹底した品質試験を行っています。あらゆる利用シーンを想定した試験の種類は数十項目にも及びます。定番「落下試験」や「振動試験」、「開閉試験」などはもちろんのこと、「埃試験」「ペン挟み試験」「キーボード水かけ試験」など、当社独自の試験も実施。実際の利用シーンを想定したテスト機器を製作し、厳しくチェックします。

〈アフターサービス担当〉



「安曇野FINISH」にはアフターサービスも含まれます！

安曇野工場では、何らかの問題が発生し送り届けられた修理品をアフターサービス部署の枠を越え、設計・製造・品証チームと協力して現物・現実の確認を実施しています。スムーズで確実な修理対応を行なえるようにするだけでなく、その原因の解析・解決も並行して行います。同じトラブル

がそれ以降発生しないよう、設計変更や製造作業の改善など、再発・未然防止策として迅速にフィードバックされます。設計、製造からアフターサービスまでがひとつの場所に集まっているVAIOだからこそできること。このスピード感もVAIOの強みのひとつと言えるのではないのでしょうか。